

家庭学習の手引き

1年生の国語

- 授業用ノートの工夫・・・授業があったその日に、お家で授業ノートやプリントを見直しましょう。眺めるだけでも効果はあります。また、ぜひノート下の6cmを使って要点をまとめたり、次の授業の予習をしてください。授業を思い出しながら、自分なりにコメントを付け加えてみてください。
- 漢字の書き取り・・・マルカンを使って、漢字を繰り返し書く習慣をつけましょう。提出日前に一気にやっても、あまり身に付きません。読み仮名をふり、一つ一つの単語を丁寧に書いていきましょう。自分で小テストを作り、苦手な漢字はなんども書いて、覚えるまで練習するのも有効です。
- 文法・・・文法ワークを使って復習しましょう。基礎の部分ができていないと、その先の学習はできないので、文節分け・単語分けは徹底的に練習してください。さくらんぼワークにも文法問題は載っているので、そちらも活用しましょう。
- 読解・読み取り・・・読解力をつけるために、想像力は重要です。想像力をつけるために、読書はとっても有効です。一日15分でいいので、本を読みましょう。内容はどんなものでもかまいません。ただし、マンガではなく、活字のものにしましょう。読むときに、その場面や主人公の気持ちなど、想像力を存分に働かせてください。世界が広がります。

家庭学習の手引き

1年生の数学NO1（正負の数・文字式編）

- ・授業で行ったプリントやワークの問題を中心に**計算のルール**にしたがって計算をしましょう。（計算のルールは授業用のノートを参考にする。）
- ・必ず答え合わせまでやりましょう。間違えた所はそのままにせず、**解き直し**をすること。

<解き直しの方法>

- ①途中式を写し、再度見ないで計算を行い、できるまでやり直しをする。
- ②自分の力で解決できない問題については、その問題に印をつけ、翌日等に先生や友達に聞けるよう準備をしておく。

<数学の家庭学習例（30分の場合）>

①問題に取り組む 【10分】

※1分程度考えても分からない問題には印をつけ、次の問題に進む。

大事なことは、たくさん問題に触れる事。制限時間内にできるだけ多くの問題に挑戦しましょう。

②答え合わせ 【5分】

※できるだけ細かいミスも見逃さず、採点しましょう。

③解き直し 【15分】

上記の方法で解き直しをする。

☆もし解き直しがあまりない場合は、以下の方法で学習を進めてみましょう。

- ・教科書・ワーク・プリント・参考書など、同じ単元や類題を見つけ、解いてみる。また、数字の部分だけ自分で変えてみて、自作の問題を

家庭学習の手引き

2年生の理科 地学・化学分野

- 予習 … 教科書を読み、アンダーライン

授業最後に次の学習範囲を予告します。家庭では、この部分の教科書を読み、わからないところにアンダーラインを引きます。これが第一段階。余力のある君は、君自身で、このアンダーラインの部分のどこを授業で理解できるようにしようかと、独自の目標をつくります。これが第二段階。

第二段階に進んだ君には、「自分から学びとる」心構えができあがっています。すると、ぐんぐん学力がアップ。(教え込まれる学習、教えられるのを待っている学習は、学習を人任せにしています。学習とは君の頭の中に知識構造を築き上げる作業です。人任せでは伸びないのは当然です。)

- 復習(その1) … 学校での学習を自分なりの方法でまとめる

学習したことを、自分なりの「図式」「文章」「図や絵」「表」でまとめます。このとき、「自分なりの方法」で書くことが大切です。

どうしても難しければ、ワークシートや教科書を写すことから始めると良いです。しかし、内容を考えずにただ写すだけでは、効果は半分であると認識してください。この方法は、学習を君の頭の中にしっかりと築き上げることを狙っているからです。挑戦して次第に「自分なりの方法」で書こう。

家庭学習の手引き

3年生の理科

- 予習について…授業を受ける前日に必ずやってほしいことは、教科書をしっかり読むことです。国語の学習とよく似ているかも知れませんが、中学校の理科は、重要語句をしっかりと覚えるところから始まります。例えば教科書に、「ゾウリムシやアメーバは体が1つの細胞からできている。このような生物を単細胞生物という。」という文章があります。覚える内容は、単細胞生物です。次の授業で学ぶことははっきりと、しかも太文字で教科書に書いてあります。その部分を覚えることが大切になります。教科書を読むことで、どの部分が大事か分かります。
- 復習について…授業の目標（課題）が「〇〇を説明しよう」「〇〇を理解しよう」となっている場合は、家で改めて自分の言葉で説明したり、図で表してみたりして、理解を深めよう。
また、ワークを解く際は、ワークに直接書き込まずに、必ずノートに解く。グラフや作図の問題は、ワークをコピーして、それをノートに貼って解く。分からなかった問題にチェックを入れて、何度も繰り返し解くこと。

家庭学習の手引き

3年生の社会

- 予習は特別にしなくてよいですが、できる時間の余裕があったなら教科書を読んでおくことで授業の理解が早いかもしれません。急がば回れで、普段からテレビのニュースを毎日必ず見るとか、新聞をたとえめくるだけでも必ずすべてのページに目を通し、少しでも読んでみようと思った記事は読んでみるなど、背景になる知識を多く持つと授業の内容が腑に落ちることが多くなります。
- 復習がむしろ大切です。勉強する労力の8割は復習、予習は2割かそれ以下でよいです。授業で学習したことを教科書・ノートで見直して、学習問題のまとめや答えがどうしてそうなのかを話せるようにしましょう。話せる場面がなければ、文章で書けるようにしましょう。
- 単元が一つ終わったら、ワークブックをやってみましょう。たとえ上手に学習問題の解答が答えられたとしても、細かい知識がないと試験で点数が取れないからです。まずは、左のページの用語の確認からです。3回繰り返せば大概頭に入ります。左のページがOKになったら、右のページへ行きましょう。これも3回繰り返しましょう。1回目と2回目の間、2回目と3回目の間は間違えたところを中心に教科書・ノートでよく復習をし直してください。